

コッホ現象疑い事例への対応

医療機関の対応

- ①接種後10日以内（2～3日後が多い）の発赤・膨隆・膿の有無を確認する。
- ②結核患者との接触の有無を確認する。
- ③（必要に応じて）来院にてBCG接種部位を確認する。

針痕に一致した
発赤等あり

接種部位の変化（10日間）を
写真撮影しておく。

経過中に局所反応が悪化
コッホ現象である可能性大

経過中、局所反応が軽減

- ①BCG接種後1週間以内にツ反を実施。
（遅くとも14日以内）
※14日以上の場合、BCG接種によるツ反陽転の
可能性がある。
- ②48時間後にツ反判定。（ツ反部位を写真撮影）

以後、通常の経過であるか
どうか経過確認。

ツ反 陽性

ツ反 陰性

- ①和歌山市保健所保健対策課感染予防対策班へ連絡し、「コッホ現象事例報告書」、「今までの接種部位及びツベルクリン反応の写真データ」を提出。
- ②精査、治療の必要性の説明。
- ③以後の対応は保健所で行う。

- ①和歌山市保健所保健対策課感染予防対策班へ連絡し、「今までの接種部位及びツベルクリン反応の写真データ」を提出。
- ②以後通常の経過であるかどうか、保健所と連携・協議。
- ③接種後1か月半から2か月後に、通常の反応が生じているかどうか確認。